セキュリティホワイトペーパー

オフィス宅ふぁいる便の ISO/IEC 27017:2015 に基づくセキュリティ要求事項への取り組み

第 1.0 版

2021 年 11 月 25 日

株式会社オージス総研

目次

はじめに 4
本書の目的 4
本書の適用範囲 4
本書の構成について 4
ISMS クラウドセキュリティ認証について 5
ISMS クラウドセキュリティ認証の対象組織について 5
オフィス宅ふぁいる便サービスについて 6
JIS Q 27017:2016（ISO/IEC 27017:2015）要求事項に対する取り組み 7
5.1.1 情報セキュリティのための方針群 7
6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任 7
6.1.3 関係当局との連絡 7
CLD.6.3.1 クラウドコンピューティング環境における役割及び責任の共有及び分担 8
7.2.2 情報セキュリティの意識向上，教育及び訓練 8
8.1.1 資産目録 8
CLD.8.1.5 クラウドサービスカスタマの資産の除去 9
8.2.2 情報のラベル付け 9
9.1.2 ネットワーク及びネットワークサービスへのアクセス 9
9.2.1 利用者登録及び登録削除 9
9.2.2 利用者アクセスの提供（provisioning） 10
9.2.3 特権的アクセス権の管理 10
9.2.4 利用者の秘密認証情報の管理 10
9.4.1 情報へのアクセス制限 10
9.4.4 特権的なユーティリティプログラムの使用 10
CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離 11
CLD.9.5.2 仮想マシンの要塞化 11
10.1.1 暗号による管理策の利用方針 11
10.1.2 鍵管理 12
11.2.7 装置のセキュリティを保った処分又は再利用 12
12.1.2 変更管理 12
12.1.3 容量・能力の管理 12
CLD.12.1.5 実務管理者の運用のセキュリティ 13
12.3.1 情報のバックアップ 13

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

12.4.1 イベントログ取得 13
12.4.3 実務管理者及び運用担当者の作業ログ 14
12.4.4 クロックの同期 14
CLD.12.4.5 クラウドサービスの監視 14
12.6.1 技術的ぜい弱性の管理 14
13.1.3 ネットワークの分離 15
CLD.13.1.4 仮想及び物理ネットワークのセキュリティ管理の整合 15
14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化 15
14.2.1 セキュリティに配慮した開発のための方針 16
15.1.1 供給者関係のための情報セキュリティの方針 16
15.1.2 供給者との合意におけるセキュリティの取扱い 16
15.1.3 ICT サプライチェーン 16
16.1.1 責任及び手順 17
16.1.2 情報セキュリティ事象の報告 17
16.1.7 証拠の収集 18
18.1.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定 18
18.1.2 知的財産権 18
18.1.3 記録の保護 19
18.1.5 暗号化機能に対する規制 19
18.2.1 情報セキュリティの独立したレビュー 20
別紙 1　オフィス宅ふぁいる便文書一覧 21
改訂履歴 22

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

はじめに

本書の目的

本書ではオージス総研（以下、弊社）の提供するオフィス宅ふぁいる便サービス（以下、本サービス）の「JIP-ISMS517-1.0（ISO/IEC27017:2015）に基づく ISMS クラウドセキュリティ認証に関する要求事項への取り組み」についてご確認いただくことを目的としております。

本書の適用範囲

弊社の提供するオフィス宅ふぁいる便サービスが本書の適用範囲となります。

本書の構成について

本書では、「JIS Q27017:2016（ISO/IEC 27017：2015）クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範」にて求められているクラウドサービス固有の管理策について、その要求事項の項番に沿うよう記載しております。
項番が「CLD」の箇条については「附属書 A（規定）クラウドサービス拡張管理策集」として、追加の管理目的、管理策及び実施の手引が記載された要求事項です。
本書では、閲覧する際の利便性を考慮し、それらの拡張管理策についても項番に沿って記載しております。
また、各要求事項では「クラウドサービスカスタマ」「クラウドサービスプロバイダ」それぞれに対する管理策が求められるため、箇条を分けて記載しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

ISMS クラウドセキュリティ認証について

ISMS クラウドセキュリティ認証は、ISMS 審査基準（ISO/IEC27001）に適合した組織において、その適用範囲内に含まれるクラウドサービスの提供または利用に関して、クラウドサービス向けの国際規格である ISO/IEC27017:2015（国内規格は JIS Q27017:2016） に規定されるクラウドサービス固有の管理策が実施されていることを認証する制度です。
ISMS クラウドセキュリティ認証の詳細については、情報マネジメントシステム認定センターの Web サイトをご参照ください。

参考：
情報マネジメントシステム認定センター　ISMS 適合性評価制度
（https://isms.jp/isms.html）

ISMS クラウドセキュリティ認証の対象組織について

ISO/IEC 27017 は「クラウドサービスを提供する組織」（以下、クラウドサービスプロバイダ）と「クラウドサービスを利用する組織」（以下、クラウドサービスカスタマ）が対象となります。クラウドサービスプロバイダの中で、他社のクラウドサービスを利用してサービスを提供している組織は、クラウドサービスプロバイダとクラウドサービスカスタマの両方が該当します。

弊社ではオフィス宅ふぁいる便サービス提供における「クラウドサービスカスタマ」「クラウドサービスプロバイダ」について以下の通り定義し、ISMS クラウドセキュリティ認証を取得しております。

クラウドサービスカスタマ

弊社がオフィス宅ふぁいる便サービスを提供するために Amazon Web Services（以下、AWS）を利用しております。

クラウドサービスプロバイダ

弊社がクラウドサービスであるオフィス宅ふぁいる便を開発、運用及び保守し、サービス提供しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

オフィス宅ふぁいる便サービスについて

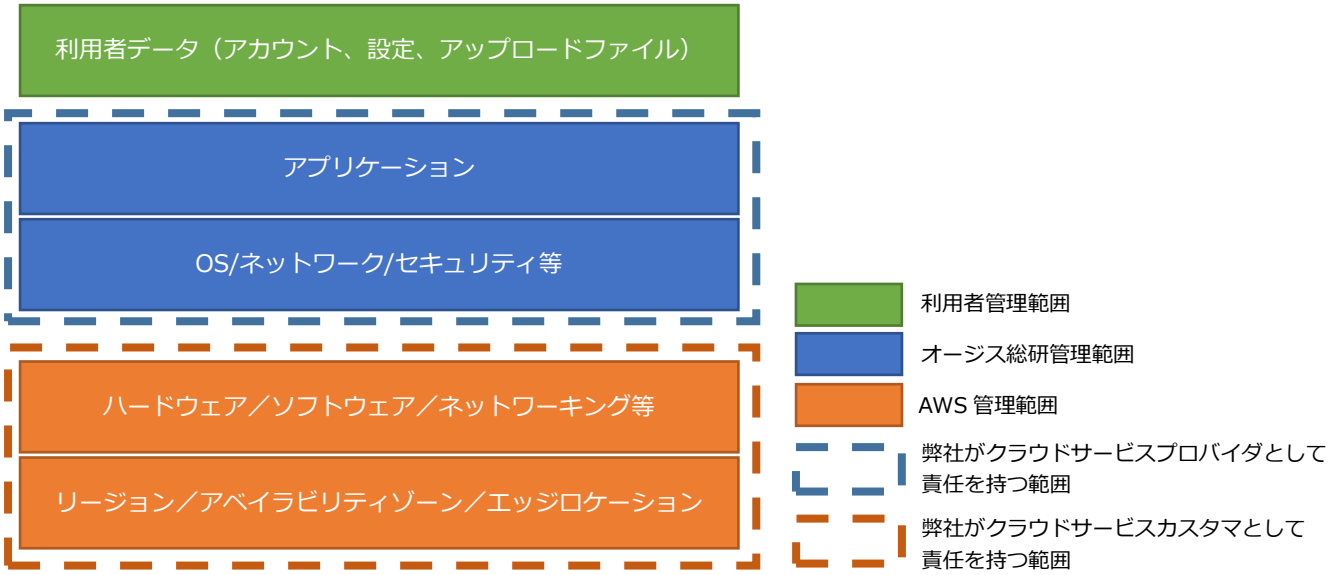
オフィス宅ふぁいる便とは

オフィス宅ふぁいる便は、"メールよりも安全に大容量ファイルの送信が行える"をコンセプトに企業内で取り扱われる様々な重要データ・ファイルを安全に社外のお客様にお届けする、企業での利用に特化した法人向けファイル転送サービスです。
本サービスの詳細については、オフィス宅ふぁいる便サービス紹介ページをご参照ください。

オフィス宅ふぁいる便サービス紹介
（https://www.ogis-ri.co.jp/pickup/takufile/）

責任分界点と ISMS クラウドセキュリティ適用範囲

本サービスの責任分界点及び弊社が ISMS クラウドセキュリティ「クラウドサービスプロバイダ」「クラウドサービスカスタマ」として責任を持つ範囲は以下の通りです。



Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

5.1.1 情報セキュリティのための方針群

クラウドサービスカスタマ／クラウドサービスプロバイダ

弊社は 2003 年以来、一般財団法人　日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）（現　一般社団法人　情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC））の ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）適合性評価制度の認証を継続しております。
詳細については、弊社ホームページにて情報セキュリティ基本方針として公開しております。

オージス総研 情報セキュリティ方針
（https://www.ogis-ri.co.jp/strength/qua/security_policy.html）

6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任

クラウドサービスカスタマ

AWS の責任共有モデルに基づいて AWS と弊社の責任範囲を明確にし、その役割及び責任を遂行しております。

参考：
AWS 責任共有モデル
（https://aws.amazon.com/jp/compliance/shared-responsibility-model/）

クラウドサービスプロバイダ

弊社は、本サービスにおけるクラウドサービス基盤から、サービス運用までのセキュリティに関する運用、管理及び制御について責任を負います。
契約者は、本サービスに登録される顧客データの内容、アカウント情報の管理、本サービスを利用してアップロードされたファイルをダウンロードするための情報の管理及びクラウドサービスを利用するための設定について責任を負います。

別紙１：
オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（第１６条（本サービスに関するセキュリティの責任））

6.1.3 関係当局との連絡

クラウドサービスカスタマ

AWS と弊社の契約により、準拠法、管轄裁判所を特定しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

クラウドサービスプロバイダ

本サービスは、以下の通りサービス提供しております。

弊社所在地一覧：オージス総研　事業所一覧（https://www.ogis-ri.co.jp/corporate/base/）

AWS 利用リージョン：日本国内リージョン

データ保管国：日本国内

準拠法：日本法

管轄裁判所：大阪地方裁判所

別紙１：

サービス利用規約（第４１条　（準拠法）、第４２条　（合意管轄））

CLD.6.3.1 クラウドコンピューティング環境における役割及び責任の共有及び分担

クラウドサービスカスタマ

AWS の利用、本サービスのシステム開発、サービス運用における手順書、注意事項等を取り纏め担当者間で共有し、必要に応じて随時アップデートを行っております。

クラウドサービスプロバイダ

以下、オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約に記載しております。

別紙１：

オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（第１６条（本サービスに関するセキュリティの責任））

7.2.2 情報セキュリティの意識向上，教育及び訓練

クラウドサービスカスタマ／クラウドサービスプロバイダ

本サービスに携わるすべての社員に対し、弊社の情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティマネジメントシステムに関する教育・訓練を定期的に実施しております。

また、AWS 認定資格の取得、トレーニング、セミナーの受講を奨励し、知識、スキルの向上に努めております。

参考：

AWS トレーニング（https://aws.amazon.com/jp/training/）

AWS 認定資格（https://aws.amazon.com/jp/certification/）

8.1.1 資産目録

クラウドサービスカスタマ／クラウドサービスプロバイダ

情報資産はその保存場所、内容を特定し管理しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

情報資産のうち個人情報を含むものについては、その内容を精査しより厳密に管理しております。
これらの情報は定期的に棚卸を行い最新の状態で管理しております。

CLD.8.1.5 クラウドサービスカスタマの資産の除去

クラウドサービスカスタマ

AWS での本サービスの提供を終了する場合には、AWS と弊社の契約に則り関連する情報資産は全て返却、削除されます。

別紙１：
サービス利用規約（第１３条　（本サービスの終了））

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの契約者から解約のお申込みをいただいたのち、決定したサービス解約日の翌日に速やかにデータ（アップロードファイル、アカウント、送受信履歴等のログ）は削除されます。
データ削除処理完了後は、利用者の管理画面へのログインも不可となります。

別紙１：
サービス利用規約（第３６条　（利用契約終了後の措置））

8.2.2 情報のラベル付け

クラウドサービスカスタマ

AWS 上の情報資産はタグ機能を利用しラベル付けを行っております。

クラウドサービスプロバイダ

アドレス帳に「キーワード」としてラベル付けの機能を提供しております。

9.1.2 ネットワーク及びネットワークサービスへのアクセス

クラウドサービスカスタマ

AWS を含むクラウドサービスのアクセス制御方針や要求事項は、弊社のセキュリティガイドラインに則り対応しております。

9.2.1 利用者登録及び登録削除

クラウドサービスプロバイダ

本サービスでは、ユーザ管理機能を提供しており管理者が設定可能です。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

9.2.2 利用者アクセスの提供（provisioning）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスのユーザ権限を管理する機能（アクセス権、機能制限設定等）を提供しており、管理者が設定可能です。

9.2.3 特権的アクセス権の管理

クラウドサービスカスタマ

AWS への認証は多要素認証及び接続元 IP アドレスの制限を設定しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスは、通常の認証設定に加えて、接続元 IP アドレスの制限、シングルサインオン等ご利用環境に合わせた認証設定が可能です。

9.2.4 利用者の秘密認証情報の管理

クラウドサービスカスタマ

AWS への認証は特権的アクセス権、利用者のアクセス権等の用途に関係なく「9.2.3 特権的アクセス権の管理」クラウドサービスカスタマと同様の設定をしております。

クラウドサービスプロバイダ

利用者アカウントの認証情報管理機能として、権限設定、アカウント管理、パスワードポリシー設定の機能を提供しております。

9.4.1 情報へのアクセス制限

クラウドサービスカスタマ

AWS の各リソース、データベース、ストレージ及びログ等の情報資産へのアクセスは、その役割に応じたアクセス権を設定し、厳密に管理しております。
本サービスの利用者がアップロードしたファイルについては、弊社は関与いたしません。
（アップロードファイルに対して参照、複製等を目的にアクセスすることはありません）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者は自身がアップロードしたファイルのみ参照することが可能です。
同一契約内であっても、他ユーザの設定やアップロードファイルを参照することはできません。
管理者は同一契約内全ユーザの送受信履歴を確認することが可能です。

9.4.4 特権的なユーティリティプログラムの使用

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

クラウドサービスカスタマ

特権的なユーティリティプログラムを利用することはありません。

利用するすべてのソフトウェアが本サービスの管理策を妨げないことを確認の上、利用しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスにおいて、通常の操作手順又はセキュリティ手順を回避することのできるユーティリティプログラムの提供はありません。

CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離

クラウドサービスプロバイダ

本サービスは、マルチテナント環境でサービス提供しております。

利用者がアクセスするための URL は、ご契約ごとに一意な URL が提供されます。

アップロードファイルの保持については、論理的に分離され他の契約者と混在することはありません。

CLD.9.5.2 仮想マシンの要塞化

クラウドサービスカスタマ／クラウドサービスプロバイダ

AWS の利用、本サービスの提供において必要な各種セキュリティ対策を適切に実施しております。

また、それらが正しく設定されており問題が無いことを弊社内レビュー制度にて定期的に確認しております。

セキュリティ対策の詳細は、オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約をご参照ください。

別紙 1：

オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（別紙 2:安全対策）

10.1.1 暗号による管理策の利用方針

クラウドサービスカスタマ

AWS への通信、AWS 上で利用するストレージ、データベース等は適切に暗号化しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者の情報を保存するデータベース、アップロードファイルを保存するストレージ等は、適切に暗号化しております。

本サービスへの通信は、暗号化通信のみアクセスを許可しております。

別紙 1：

オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（別紙 2:安全対策）

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

10.1.2 鍵管理

クラウドサービスカスタマ

AWS の暗号鍵管理機能を利用し、弊社が管理する暗号鍵を利用しております。
安全性の高い強度の暗号鍵を作成し、ライフサイクル設定や厳密なアクセス権設定等を行い、適切に管理しております。

11.2.7 装置のセキュリティを保った処分又は再利用

クラウドサービスカスタマ

AWS 環境における物理的な装置の処分については、AWS 側で適切に実施されております。

参考：
AWS クラウドにおける安全なデータの廃棄
（https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/data_disposal/）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスは、AWS 上に構築しサービス提供しているため物理的な資源（装置、ディスク、記録媒体など）を利用しておりません。

12.1.2 変更管理

クラウドサービスカスタマ

AWS の変更が本サービスに影響を及ぼす可能性がある場合は、速やかに検証を行い必要に応じて弊社の変更管理手順に則り対応を行います。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者に影響のある変更（システム停止を伴うものを含む）を実施する場合には、事前に通知を行います。
また、変更の内容はリリースノートにて利用者向けに公開しております。

別紙 1：
「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書（3．本サービス利用可能時間帯）

12.1.3 容量・能力の管理

クラウドサービスカスタマ

AWS 上の各リソースは、冗長構成かつ負荷に合わせて自動スケールする設定にしております。
また、システムの稼働状況を監視し安定したサービス提供が可能なように管理しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの管理者向けに利用状況を確認する機能を提供しております。
契約全体のアカウント数、ストレージ容量、データ転送容量等をご確認いただけます。
また、管理者のメールアドレスには利用容量通知のメールが毎日送信されます。

CLD.12.1.5 実務管理者の運用のセキュリティ

クラウドサービスカスタマ

全ての変更作業は、弊社の定める変更管理手順に則り実施しております。

クラウドサービスプロバイダ

「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書、管理者向け操作マニュアル、利用者向け操作マニュアルをそれぞれ提供しております。

別紙 1：
「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書

12.3.1 情報のバックアップ

クラウドサービスカスタマ

本サービスの復旧を目的としたバックアップを取得しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者が使用出来るバックアップ、リストア機能は提供しておりません。

別紙 1：
Q&A 集（オフィス宅ふぁいる便）
　ファイル送信一般について ＞ Q 送信したファイルのバックアップはできるのか？

12.4.1 イベントログ取得

クラウドサービスカスタマ

AWS のアクティビティログ、各サーバのシステムログ、イベントログ、アプリケーションログ、アクセスログ等、本サービスの安定稼働に必要な各種ログを取得し保管期間を定めて管理しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者向けに、ファイル送受信、ファイル送信失敗、本サービスの操作等の履歴一覧が閲覧できる機能を提供しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

また、各ユーザが本サービスへログインした際に、ユーザの登録メールアドレスにログイン通知が送付されます。

12.4.3 実務管理者及び運用担当者の作業ログ

クラウドサービスカスタマ

実務管理者による特権的操作のログを取得しております。
AWS のセキュリティに影響を及ぼすような変更については、監視及び通知設定を行いその変更が承認されたものであるか確認しております。

12.4.4 クロックの同期

クラウドサービスカスタマ

AWS の提供する時刻同期サーバを参照し時刻同期しております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスで利用する全ての時刻は、AWS の時刻同期サーバと時刻同期しております。

CLD.12.4.5 クラウドサービスの監視

クラウドサービスカスタマ

24 時間 365 日、本サービスを監視しております。
異常検知時は本サービスの運用担当者へ通知される運用を行っており、迅速な対応が可能な体制を取っております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの管理者が利用状況を監視する機能については、「12.1.3 容量・能力の管理」クラウドサービスプロバイダに記載しております。

12.6.1 技術的ぜい弱性の管理

クラウドサービスカスタマ

脆弱性情報を収集し、必要に応じて対策を実施しております。
また、定期的な脆弱性診断の実施に加え、新サービスリリース時には必ず第三者による脆弱性診断を実施し、安全な状態が保たれていることを確認しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者に影響のある脆弱性が発見された場合には、必要に応じてメールにてご連絡を行います。脆弱性対応に伴うバージョンアップの実施状況などは、オフィス宅ふぁいる便リリースノートにて利用者向けに公開しております。

13.1.3 ネットワークの分離

クラウドサービスカスタマ

AWS により契約アカウントごとにネットワークは適切に分離されております。

クラウドサービスプロバイダ

本サービスは、マルチテナント環境で提供しております。
詳細は「CLD.9.5.1 仮想コンピューティング環境における分離」クラウドサービスプロバイダをご参照ください。
本サービスの運用担当者が実施するサービスの維持管理（サービス運用やメンテナンス等）を目的としたアクセスは、本サービスの利用者ネットワークとは分離しており混在することはありません。

CLD.13.1.4 仮想及び物理ネットワークのセキュリティ管理の整合

クラウドサービスプロバイダ

弊社のセキュリティマニュアルに則り設計、設定を行っております。それらの内容は、弊社のセキュリティレビュー制度により適切に設計、設定されていることを確認しております。

14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化

クラウドサービスカスタマ

AWS Well-Architected フレームワーク設計の原則に則りシステムを設計、構築しております。

参考：
AWS Well-Architected（https://aws.amazon.com/jp/architecture/well-architected/）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの各種セキュリティ対策については、オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約に記載しております。
また、セキュリティ維持を目的としたバージョンアップ等の情報は、オフィス宅ふぁいる便リリースノートにて利用者向けに公開しております。

別紙 1：
オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（別紙 2:安全対策）

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

14.2.1 セキュリティに配慮した開発のための方針

クラウドサービスカスタマ

「14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化」クラウドサービスカスタマと同様の取り組みを行っております。

クラウドサービスプロバイダ

弊社のセキュリティマニュアル及び開発手順に則りシステム開発を進めております。
リリースについては、変更管理プロセスを定め脆弱性診断の実施を行う等、セキュリティに配慮して実施しております。

15.1.1 供給者関係のための情報セキュリティの方針

クラウドサービスカスタマ

AWS を供給者の一つとして定め、弊社の情報セキュリティ基本方針及びセキュリティマニュアルに則り適切に管理、利用しております。

15.1.2 供給者との合意におけるセキュリティの取扱い

クラウドサービスカスタマ

AWS 責任共有モデルに基づいて AWS と弊社のセキュリティの役割及び責任範囲を明確にし、各種セキュリティ対策を実施しております。
具体的なセキュリティ対策については本書各項をご参照ください。

参考：
AWS 責任共有モデル
（https://aws.amazon.com/jp/compliance/shared-responsibility-model/）

クラウドサービスプロバイダ

弊社と本サービスの利用者の責任範囲は「6.1.1 情報セキュリティの役割及び責任」クラウドサービスプロバイダに記載しております。
また、弊社の実施するセキュリティ対策については「14.1.1 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化」クラウドサービスプロバイダに記載しております。

15.1.3 ICT サプライチェーン

クラウドサービスプロバイダ

ピアクラウドサービスプロバイダの利用については、オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約に記載しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

選定については、弊社の定めるセキュリティガイドラインに準拠していることを確認しております。
これらは定期的に見直しを行い、弊社の定める情報セキュリティの水準と同等以上であることを確認しております。

別紙 1：
オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（別紙 3:復処理者）

16.1.1 責任及び手順

クラウドサービスカスタマ

AWS 責任共有モデルに基づいて、AWS と弊社の情報セキュリティインシデントについての責任範囲を確認しております。

参考：
AWS 責任共有モデル
（https://aws.amazon.com/jp/compliance/shared-responsibility-model/）

クラウドサービスプロバイダ

情報セキュリティインシデントが発生した場合は、本サービスの利用者への影響を特定しメールにて通知いたします。

16.1.2 情報セキュリティ事象の報告

クラウドサービスカスタマ

AWS からの情報セキュリティ事象の報告については、弊社登録メールアドレスに通知されるよう設定しております。
また、利用する AWS 各種サービスの重要なイベント、変更、障害状況等については、AWS Personal Health Dashboard を利用し確認、追跡しております。

参考：
AWS Personal Health Dashboard
（https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/technology/personal-health-dashboard/）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者からの情報セキュリティ事象報告ついては、サポートサービスをご利用ください。
情報セキュリティ事象の対応に伴うバージョンアップ等の内容は、リリースノートにて利用者向けに公開しております。
その他、各種ご連絡事項はオフィス宅ふぁいる便ログイン画面のお知らせにて掲示いたします。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

別紙１：
「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書（８．サポートサービス）

16.1.7 証拠の収集

クラウドサービスカスタマ／クラウドサービスプロバイダ

弊社は本サービス内で生成、保存されるデジタル証拠となりうる情報（各種ログ、データ等）について、法令の定めに基づき又は権限ある官公署から開示の要求があった場合は、必要な手続きに則り当該官公署に開示する場合がございます。
詳細については、サービス利用規約をご参照ください。

別紙１：
サービス利用規約（第３１条（秘密情報の取扱い））

18.1.1 適用法令及び契約上の要求事項の特定

クラウドサービスカスタマ

本サービス提供のために必要な関係する規制及び標準に対する AWS の順守については、以下 AWS コンプライアンスプログラムにて確認しております。

参考：
AWS コンプライアンスプログラム（https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/）

クラウドサービスプロバイダ

本サービス提供における適用法令は、サービス利用規約に記載しております。
知的財産権、個人情報保護法、ヨーロッパ連合一般データ保護規則（GDPR）及びその他海外データ保護法令の遵守については、オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約及びプライバシーポリシーに記載しております。

別紙１：
サービス利用規約（第４１条 （準拠法）、第４２条 （合意管轄））
オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約
オフィス宅ふぁいる便プライバシーポリシー

18.1.2 知的財産権

クラウドサービスカスタマ

利用する全ての商用ライセンスのあるソフトウェアは、そのライセンス条件を確認しシステムの弾力性及びスケーラビリティを考慮したうえで違反の無いように利用しております。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの利用者からの知的財産権に関わるお問い合わせは、サポートサービスをご利用ください。

別紙 1：

「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書（8．サポートサービス）

18.1.3 記録の保護

クラウドサービスカスタマ

AWS 責任共有モデルに基づき弊社の責任範囲において必要な記録を保存しております。

参考：

AWS 責任共有モデル

（https://aws.amazon.com/jp/compliance/shared-responsibility-model/）

クラウドサービスプロバイダ

本サービスの運用、監視等に必要な記録は、保存期間を定め改ざん防止等の対策を行ったうえで適切に保管しております。

別紙 1：

オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約（別紙 2:安全対策）

18.1.5 暗号化機能に対する規制

クラウドサービスカスタマ

本サービスの提供に必要な、関係する規制及び標準に対する AWS の順守については、AWS コンプライアンスプログラムにて確認しております。

参考：

AWS コンプライアンスプログラム（https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/）

クラウドサービスプロバイダ

「10.1.1 暗号による管理策の利用方針」クラウドサービスプロバイダに記載の通りとなります。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

18.2.1 情報セキュリティの独立したレビュー

クラウドサービスカスタマ

AWS の情報セキュリティ管理策及び指針の実施状況等については、AWS コンプライアンスプログラムにて確認しております。

参考：
AWS コンプライアンスプログラム（https://aws.amazon.com/jp/compliance/programs/）

クラウドサービスプロバイダ

弊社は、組織的な品質への取組みとして品質マネジメントシステム（ISO9001）、ISMS（ISO/IEC 27001）、ISMS クラウドセキュリティ（ISO/IEC 27017）、プライバシーマークを取得しております。詳細については、オージス総研　品質への取組みページにて公開しております。

オージス総研　品質への取組み
（https://www.ogis-ri.co.jp/strength/qua/）

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

別紙 1　オフィス宅ふぁいる便文書一覧

1	サービス利用規約 https://pubdocs.oft.ogis-ri.jp/contracts/docs/サービス利用規約.pdf
2	オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約 https://pubdocs.oft.ogis-ri.jp/contracts/docs/オフィス宅ふぁいる便サービス利用規約.pdf
3	「オフィス宅ふぁいる便」基本仕様書 https://pubdocs.oft.ogis-ri.jp/contracts/docs/オフィス宅ふぁいる便基本仕様書.pdf
4	オフィス宅ふぁいる便プライバシーポリシー https://pubdocs.oft.ogis-ri.jp/contracts/docs/プライバシーポリシ.pdf
5	Q&A 集（オフィス宅ふぁいる便） https://www.ogis-ri.co.jp/faq/takufile.html

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.

改訂履歴

版数	更新日	内容
第 1.0 版	2021/11/25	初版発行

当資料内の内容、テキスト、画像などの無断転載を禁じます。
「オージス」、「オフィス宅ふぁいる便」、「オフィス宅ふぁいる便」ロゴは、株式会社オージス総研の商標または登録商標です。

Copyright © OGIS-RI All rights reserved.